せんとらるライナー 86号

ホームページ

2025年 秋 号
…1・4・7・10月1日発行…

セントラルグループ
〒509-7201 恵那市大井町1202-4
【TEL】0573-26-4114
【mail】info@central1961.com

セントラルグループ

三カ年経営方針発表会

実行委員長 曽我元一 挨拶

セントラルグループは、今から一世紀半以上前の明治元年に雑貨商として誕生しました。着物を着てちょんまげを結い、電話も車も存在しない時代です。今から思えば、よく商いが成り立っていたものだと驚かされます。そこにあったのは、人と人とのつながり、そして「利他の心」であったのだと思います。先代会長が語り続けた「紳士たれ、淑女たれ」という精神は、まさにそうした信頼を重んじる姿勢の表れであったといえます。

そして、昔も今も私たちが最も重視するもの、それは「人」です。社員一人ひとりが、やりがいと誇りを持って働ける環境を整え、「この会社を通じて社会に貢献したい」「この会社で働きたい」と思える職場づくりを進めていくことが、新しい発想や価値を生み出す源となり、「独創的オンリーワン企業」としての存在感を確立していく原動力になると考えています。

さらに、生成AIの活用も積極的に進めています。情報整理や意思決定の迅速化、業務効率化を実現し、人とテクノロジーが共存する新しい働き方を築くことで、さらなる競争力の源泉としていきたいと考えています。

セントラルグループは、現状に満足することなく、常に改善を重ねる姿勢を大切にしてまいります。これからも「紳士たれ、淑女たれ」の精神を胸に、社員とともに挑戦を続け、地域にとってなくてはならない企業であり続けたいと願っております。

今後ともご厚情を賜りますよう、お願い申し上げます。

三カ年経営方針を発表する阿部護社長

パーティー会場 パルティール

左 ピアノ伴奏 栗田有美さん
右 ソプラノ歌手 酒井和音さん

長い間ありがとうございました

54年間お疲れ様でした

54 ANNIVERSARY

工務部 機械課職員
加藤敏雄さん 73歳
【勤続】

高校卒業以来、半世紀以上にわたりセントラル建設一筋に社業発展のためご尽力いただき、洵にありがとうございました。現場監督として数多くの現場を支えられ、その後、機械課へと転籍されてからも、弊社の発展、技術力の向上、さらには後進の育成に至るまで幅広くお力添えをいただきました。

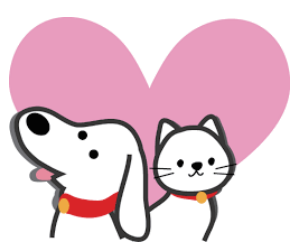
このたび、令和7年8月をもちましてご退職となりました。長年にわたる多大なるご功績を称えるとともに、心より深く感謝申し上げます。

加藤敏雄さん、本当にありがとうございました。

社員一同

「介護」と「犬の保護活動」

弊社社員の一人（N）が、令和3年秋に十五年共に過ごした飼い犬を亡くし、新たな家族となるべくワンコを求め、里親探しのサイトを検索していた時の話だ。日本全国の保護団体や保護活動をしている個人が犬猫を掲載しており、岐阜県・愛知県を中心に探していたところ、恵那市にも一件だけ個人で保護活動をしている人を見つけた。近場であり、Nは大変関心を持ったが、当時紹介されている犬が、Nの飼育可能なワンコの条件とは異なった為、別の岐阜県内の保護施設に連絡を取り、そこから保護犬の譲渡を受けることとなった。以来Nは、里親探しのサイト検索から遠ざかってしまったのであるが・・・。数年後のある時、N担当の利用者さんがデイサービス利用を希望され、通所介護の施設を調べていた時のこと。上司から「ここのデイサービス、施設に犬がいてアニマルセラピーやっているよ。職員さんの一人が家から犬を連れてきているみたい。」との話を聞いた。Nは「ご近所の老健さんにもワンコがいたなぁ、好きな人には、やはり動物は癒しになるよなぁ。」と思いつつ、そのアニマルセラピーのデイサービスさんに連絡を取ってみた。対応下さった責任者さんのお名前を聞いた瞬間、Nの脳内の豆電球がピカリと光った。「はっ！数年前にサイトで見つけた恵那市唯一の保護活動をされている人ではないだろうか！きっと間違いない！」しばらく勇気が出ず、ご本人に尋ねることはなかなかできなかったのだが、数か月後、少し親しくなった時に思い切って話しを切り出してみた。・・・間違いなく、その人であった。狭い恵那市ではあるが、同じ業界で、利用者さんを通じて、こんな形で出会うことが出来るとは！その人「ちえみさん」は預かりボランティアさんの協力を受けながら、お一人でご自宅で保護活動を続けておられる。以前から犬の保護活動に関心のあったNは、思いがけず預かりボランティアとして、微力ではあるが、協力できることとなった。利用者さんが結んだ縁である。



Kanekuコーポレーション

せんとらるライナー 食堂車

フレンチレストラン AOZOLA

明智町の緑に囲まれた静かな一角に佇むフレンチレストラン「AOZOLA」。オーナーの佐野晃一さんは、この町で生まれ育ち、18歳で東京の調理専門学校に進んだ。その後、フレンチ界の巨匠・三國清三氏の本店出身で初代副料理長を長年務めた桑本シェフのもとで修行を重ねた。確かな技術と経験を積み、35歳で独立。地元の喫茶店を改装して始めた「AOZOLA BASE」を経て、2023年に現在の本格的なフレンチレストランへと生まれ変わらせた。

【自然光が差し込む、安らぎの空間】

コンセプトは「気軽にフレンチを楽しめるお店」。自ら無農薬野菜を育て、地域の生産者さんが丹精込めて育てた食材をこだわる持ち味をいかしたメニューだけではなく、週末には県内はもちろん愛知県など遠方からもお客様が足を運ぶ人気ぶりだ。支えてくださるお客様への感謝が、AOZOLAの大きな力となっている。

【窓辺の緑に癒される、くつろぎの時間】

看板メニューは、寒天で育てた三浦豚のステーキ。脂がとろけるような旨さと評判で、一度食べれば忘れられない味だ。また、生菓子や焼菓子もすべて自家製。ランチは4～5種類から選べる日替わりスタイルで、2,000円台ながら「お得感がある」と好評だ。ディナーは完全予約制で、3,000円台から12,000円までの幅広いコースが揃い、誕生日ケーキやオードブル、お弁当といった仕出しにも対応している。

一流シェフから受け継いだ技術を、ここ明智でしか味わえないかたちに進化させる。そんな佐野さんの思いが詰まった「AOZOLA」。記念日や特別な時間を過ごすには最適な場所である。

ちなみに「せんとらるライナーを読んだよ」と伝えると、年内は特別サービスも用意されているとのこと。ぜひ一度、お出かけあれ。

【緑の中で気軽に楽しむフレンチ】

営業時間	ランチ	11：00～15：00（L.O.14：00）
	ディナー	18：00～お客様が帰られるまで（完全予約制）
定休日		月曜日・火曜日・毎月10日
住所		恵那市明智町1085-1
電話		0573-32-1789

読書尚友

～読書をして昔の賢人を友にすること～

86／60＋α　古典60選　…グループ共同代表　阿部伸一郎…

『古代への情熱』

著　ハインリッヒ・シュリーマン（1822～1890）

『古代への情熱』

フェイクニュースが後を絶たない。AIの普及とともに、ますます「何を信じていいか分からない時代」になった。だが、こうした混乱は、何も現代に始まったことではない。AIが登場する遥か以前から、世の中にフェイクは溢れていた。それを思い知らされた一冊。それが、このシュリーマンの自叙伝『古代への情熱』である。

神話に過ぎないと思われていたトロイアの遺跡を発見し、私財を投じて発掘したことで知られるシュリーマン。彼の自叙伝に深く感銘を受けた私は、尊敬する人のひとりに彼の名を加えていた。ところが、暫く後、実際にトロイアの遺跡を訪れたことのある人と会う機会があった。私が知ったかぶりして本から得たウンチクを語り始めると、彼は笑いながら、シュリーマンが犯した数々の捏造や、現地では詐欺師扱いされている人物だと教えてくれた。

早速、調べてみると確かに功績もあるが、功名心が強く虚言壁のある男、山師、盗人と言った辛辣な評価が、山ほど出て来た。かつて、「本は疑って読め」と教わったことがあるが、信じ切ってフェイクを鵜呑みにしていた自分が恥ずかしく思えた。

この一冊を一言で表せば自らを称賛した英雄譚である。要約しよう。1822年ドイツ北部の貧しい牧師の家に生まれたシュリーマンは、幼い頃にトロイア戦争が記されている古書『イリアス』に感銘を受けた。当時、トロイア戦争はあくまで神話に過ぎないと考えられていたが、少年シュリーマンは、史実であると信じ、いつか自分の手で物語の舞台を発掘しようと心に誓った。そんな夢物語ばかり語るシュリーマンは、仲間外れの存在だったが、ただ一人、ミンナという女の子だけは彼を理解し、二人は将来の結婚を約束し恋は続いた。その後、英語を皮切りにフランス語、スペイン語、ラテン語、古代ギリシャ語など10か国語以上を習得し、語学力を武器にヨーロッパを股に掛けた貿易商として成功し巨万の富を築いた。そして、子供の頃からの夢であったトロイアの遺跡の場所を突き止め発掘へと乗り出していくという、波乱と栄光の人生が感動的に描かれている。

さてこの著だが、シュリーマンは第一章を書き終えた時点で亡くなっており、その後の章は未亡人の依頼を受けた伝記作家が執筆している。そして、その第一章を含め、虚言や後付けが幾つも明らかにされている。第一に、トロイアの遺跡を最初に探り当てたのは、シュリーマンではない。カルヴァートと言うイギリス人であった。だが、彼には発掘するだけの資金力がなかった。シュリーマンは彼から得た情報を基に財力にものを言わせ発掘したことが証明されている。また、前述の幼馴染のミンナが「シュリーマンとは少し遊んだ程度、婚約の話しもしていないし、トロイアの話も聞いたことがない」と、証言し彼の虚言壁を裏付けてしまった。

ざっと、こんな一冊だが、フェイクだからと言って拒絶する必要はない。小説として読めば実に面白い。ギリシャ神話の入門書にもなる。しかし、「本は疑って読むべし」という教訓書にもなる。決して無駄な読書にはならない筈だ。

シュリーマンは日本に来ていた

『シュリーマン旅行記』

江戸末期の1865年、シュリーマンは日本に来ている。著書『シュリーマン旅行記 清国・日本』の中で、日本の清潔さや治安の良さ、更に人々の勤勉さや礼儀正しさを絶賛している。この著は『古代への情熱』と違って脚色はない。ぜひ併せてお読みいただきたい。

トロイの木馬に思う

「国史」と「日本史」

『トロイの木馬』

トロイア戦争は、三千五百年以上も昔の話だ。十年にわたってもギリシャ軍とトロイア軍の決着はつかなかった。そこでギリシャ軍は巨大な木馬を作り、城門の前に残して撤退したと見せかけた。戦利品だと信じたトロイア軍は木馬を城内に運び入れた。ところが夜になると、中に潜んでいた兵士が門を開き、戻ってきたギリシャ軍に城を攻め落とされてしまった。

シュリーマンによってトロイア戦争が史実であったことは証明されたが、この「トロイの木馬」に関しては神話である。しかしギリシャでもトルコでも、この神話は学校で教えられている。一方、日本はどうか。答えは「否」である。神話は教えられていない。何故なら、日本で教えられているのは、「日本史」であって「国史」ではないからだ。そもそも「日本史」とは、外国人が我が国の歴史を学ぶ際に用いる表現であって、母国の歴史を学ぶ言葉ではない。「国語」の授業を「日本語」と呼ばないのと同じである。「国史」と「日本史」、「国語」と「日本語」。共に似て非なるものである。

現存する世界最古の国家である我が国は、文字が普及する以前から存在する。故に建国の由来を語り継ぐ神話を学ぶことは、国を理解する上で必要不可欠なことである。事実、先の大戦まで教科名は「国史」と呼ばれ、そこには、建国の経緯を伝える神話が記されていた。しかし、教科名が「日本史」となると同時に、消えた。

では、一体誰が「国史」を「日本史」へと変えたのか。それは、WGIPを使命としたGHQに他ならない。もういい加減、我々はWGIPの呪縛から解かれなければならない。

『国史』の教科書

WGIP（戦争罪悪感情報計画）
(War Guilt Information Program)

アメリカは、広島と長崎に原爆を投下し２１万人もの民間人を殺害した。加えて、東京や大阪を始めとする60以上の都市を空爆し、その死者数は広島、長崎を大きく上回った。これらの行為は、当時においても明確な戦争犯罪であった。この自国の非を覆い隠し、日本に罪を負わせるために実施されたのがWGIPであった。この施策を成功させるためには、国家としてのアイデンティティーを希薄化させることが不可欠とされた。その一環として行われたものの一つが、「国史」を廃して「日本史」へと改めることであった。

せんとらるライナー待合室　人口比率はどうなる？

ある国では人々は生まれてくる子には男の子だけを欲しがりました。そのため、どの家族も男の子を生むまで子供を作り続けました。この国では男の子と女の子の人口比率はどうなりますか？

【85号の答え】　１個、２個、４個で切断する。

＜解説＞１日目に切断した１個の延べ棒を渡す。２日目に２個の延べ棒を渡し、１個の延べ棒を返してもらう。３日目に１個の延べ棒を渡す。４日目にすべての延べ棒を返してもらい、４個の延べ棒を渡す。５日目に１個の延べ棒を渡す。６日目に２個の延べ棒を渡し、１個の延べ棒を返してもらう。７日目に１個の延べ棒を渡す。

せんとらるライナー乗務員室　ベトナム技能実習生

先輩職員の後につづき、特定技能を目指し
助け合いながら頑張ってください！

上司からの一言

【トアン】　【ジャン】

ジャン

【趣味・好きなこと】

音楽を聴くことと釣りに行くことが好きです。

【日本で頑張りたいこと】

日本語を上達させ、仕事にしっかりと取り組みたいと考えています。

【一言メッセージ】

あこがれて入ったセントラル建設で長く働きたいと思っております。

トアン

【趣味・好きなこと】

日本のいろいろなところに行ってみたいです。

【日本で頑張りたいこと】

仕事を一生懸命頑張り、成果を出したいと考えています。

【一言メッセージ】

一日一日を大切にしたいと思います。

『せんとらるライナー』につきまして、ご意見ご感想などをお聞かせいただけましたら幸いです。今後とも変わらぬご厚情賜りますようお願い申し上げます。

正社員募集中！

舗装・土木・建築　　訪問看護・ケアマネ　　建材・福祉用具営業担当

現場監督、看護師、営業職

他にも多様な職種募集しています。
会社説明、見学等、まずはご連絡ください。

☎　0573-26-4114
担当　伊藤

資格取得のバックアップ体制充実
男性職員も積極的に育児休暇を取得しています